

強力な医師会による当事者自治のドイツ医療

－「ゲートキーパーはドイツの文化に合わず」－



平成26年 9 月

日本医師会・民間病院ドイツ医療・福祉調査団 報告書Ⅱ

目 次

1. 調査の目的と成果および提言について 鈴木 邦彦 (団長).....	1
2. 調査団名簿	12
3. 日程表	13
4. 報告書	
(1) 多摩大学大学院教授 医療介護ソリューション研究所所長 真野 俊樹氏報告書	14
(2) 産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授 松田 晋哉氏報告書	30
(3) 早稲田大学名誉教授 土田 武史氏報告書	52
(4) 静岡県立大学経営情報学部准教授 藤本健太郎氏報告書	66
(5) 日本医師会総合政策研究機構 客員研究員 梅村 聡氏報告書	75
(6) 調査団参加者報告書	
①藤元秀一郎氏	83
②佐能 量雄氏	107
③川島 周氏	109
④新田 國夫氏	112
⑤富塚 太郎氏	116
⑥長瀬 幸弘氏	124
⑦山本 康世氏	130
(7) 講義資料	
①藤本健太郎氏	133
②Vortrag von Franz Knieps 氏	137
③Ramin Walter Parsa-Parsi 氏	140
④Steffen Waiß 氏	146
⑤Alexander Kuhlmann 氏	152
⑥森山 隆弘氏	164
⑦土田 武史氏	170
⑧岩間 勇氣氏	174
⑨岩間 勇氣氏	178
⑩堂元 又巖氏	184
⑪Joachim Müller 氏	193
⑫松田 晋哉氏	199
(8) 質疑応答	
①Marc Schrenier 氏	202
②Roland ilzhöfer 氏	222
③Ulrich Weigeldt 氏	250
④Steffen Waiß 氏	262
⑤Joachim Müller 氏	290
(9) 説明資料	
①Günther Jonitz 氏	301
②Christian von Klitzing 氏	308